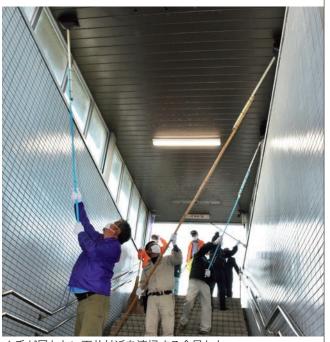
地下道を隅々まで清掃

10月13日(火)、鶴田ライオンズクラブ(鳴 海勝弘会長)は、陸奥鶴田駅付近の「丹頂地 下道」で清掃ボランティアを行いました。

同クラブによる清掃活動は毎年行われてお り、この日は会員約15人が参加。会員たちは 階段脇などの落ち葉やたばこの吸い殻などの ゴミを拾い集めたほか、竹竿などにほうきを 取り付けて、長さ4.5mにしたほうきで、通 常手が届かない天井付近のクモの巣を取り除 くなど、隅々まで丁寧に清掃していました。

鳴海会長は「地下道を通る地域の皆さんに 気持ちよく利用してもらいたい」と話し、清 掃活動に取り組んでいました。



△手が届かない天井付近を清掃する会員たち



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがあり ましたら、役場企画観光課まちづくり班(内線 262) までお知らせください。

シルバー人材センターが奉仕活動

鶴田町シルバー人材センターの会員約 10 人が 10月15日(木)、清掃やアジサイの剪定といっ た奉仕活動を行いました。

鶴田町シルバー人材センターによる奉仕活動は 15年ほど前から毎年行われており、今回は鶴遊 館から鶴寿公園までの道と鶴寿公園内のゴミ拾い を行いました。会員たちは火ばさみを使い、年齢 を感じさせない元気な動きで腰をかがめる作業を 何度も行い、たばこの吸い殻や空き缶などを拾っ ていました。この日拾い集めたゴミは45ℓのゴ ミ袋2袋分ほどでした。

シルバー人材センターは高齢者が仕事を通じて 生きがいを得ることと、地域社会の活性化に貢献 していくことを目的に活動しています。



△公園内のゴミを拾い集める会員たち

新 生 児 と 妊 婦 を 支 援

10月19日(月)、新生児・妊婦特別定額給付 金の交付式が行われました。

町では、新型コロナウイルス対策で支給された 国の特別定額給付金の支給対象外の新生児および 妊婦へ10万円を交付しています。

交付式には、新生児代表で須藤聖司さん亜沙美 さん夫妻と5月に生まれた大斗くん、妊婦代表で 三浦愛美さんが出席。相川町長から目録を受け取 りました。須藤さん夫婦は「町から支援してもら えて助かる」、三浦さんは「長男もいてお金がか かるので、育児費用に役立てたい」と話していま

10 月末時点の給付金対象者は、新生児 21 人、 妊婦が 44 人となっています。



△給付金の目録を相川町長から受け取った対象者たち



△関係者によるテープカット

町社協に福祉巡回車寄贈

生命保険協会青森県協会(三ヶ尻崇史会長)は 10月20日(火)、鶴田町社会福祉協議会に介護 サービスなどの地域福祉活動に利用される福祉巡 回車を1台寄贈しました。

同協会は県内加盟の生命保険会社の従業員から 寄せられた募金をもとに、1991年度から、県内 の社会福祉協議会に福祉巡回車や車椅子などを寄 贈しており、町社協への福祉巡回車の寄贈は今回 で2回目となります。

町保健福祉センター鶴遊館で行われた贈呈式で は、三ヶ尻会長は「地域の福祉サービスの向上に 役立てていただければ、当協会としてもうれしい」 とあいさつしました。



10 月1日から地域おこし協力隊に着任した川口翔大です。先輩 の山田さんと月替わりでお届けします。

着任からバタバタと活動環境を整えている間にぐっと気温も下 がり、慌ててストーブを用意しました。久しぶりの津軽の冬に向け てドキドキしています。

今のところは、対面やオンラインでの交流活動を具体化するため に、挨拶回りや企画立案などの下準備をしています。

先日、買い物中に「川口さんですよね?頑張ってくださいね~~~ と声をかけていただきました。この先の活動を通じて皆さんにも声 をかけていただけるように頑張りますので宜しくお願いします!



△4月に完成した「ここある」を訪れた川口さん

川口さんの SNS





Twitter facebook

地域おこし協力隊の 活動内容は、SNS・町 ホームページでも確認 することができます。